

## 地下探査技術講習会を開催しました



金子 謙二

KANEKO Kenji  
(一社)日本非開削技術協会  
事務局長

昨年に引き続き、地下探査技術の普及を目的として、技術の概要や現場での適用についてわかりやすく解説する、技術講習会を開催しましたので以下の通り報告します。

日 時：2023年5月19日（金）13：00-16：30  
方 式：会場参集とWeb（Zoom ウェビナー）併用  
参集場所：亀戸文化センター 5F 第2研修室  
（東京都江東区亀戸2-19-1）

内 容：○地下探査技術の概要  
・地中レーダ法  
・電磁誘導法  
・その他の探査技術  
○地下探査技術適用  
・地下埋設物探査技術適用  
・路面下空洞探査技術適用  
○ディスカッション～現場最前線～

講 師：当協会 地下探査技術委員会  
斎藤 秀樹 委員長  
網崎 勝 副委員長  
久保田兼士 委員  
鈴木 敬一 委員

申込人数：30名（会場12名，Web18名）

継続教育制度：土木学会CPD 3.0単位  
全国土木施工管理技士会連合会  
CPDS 4ユニット

当協会では非開削技術講習会を毎年開催（昨年度は2023年2月2日に開催）しており、その中で地下探査技術に関する内容も扱っておりますが、この講習会で

は地下探査技術を単独で取り扱いました。

講習会の開催にあたっては、当協会の地下探査技術委員会において議論を重ね、2021年10月に当協会から発行された「非開削地下探査技術適用の手引き」をテキストとして用いながら、地下探査技術とその適用について理解を深めることを目指しました。

昨年に引き続き2回目の講習会開催となりましたが、今回は従来の座学に加え、各講義の講師をパネリストとしたディスカッションの時間を設けました。講義資料だけでは伝わりづらい現場での生の情報を受講のみならずにお届けするとともに、さまざまなご質問にパネリストがその場でお答えする機会となり、大変ご好評を頂きました。

次回開催に向けた準備もスタートし、実機を用いた技能講習の実施について議論しています。今後とも、地下探査技術の普及拡大を目指し、各種行事を企画して参りますのでご注目ください。



▲ 現地での講習会の様子

## 第30回 非開削技術講演会を開催しました

金子 謙二  
KANEKO Kenji

(一社)日本非開削技術協会  
事務局長

2023年7月4日、第30回非開削技術講演会を品川シーズンテラスカンファレンス（東京都港区）において開催しました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行後の開催となった今回は、会場参集方式で開催し、67名のお申し込みを頂きました。

今回の講演会では、「下水道管渠の設備構築・運営のこれから」をテーマとして掲げ、3つの講演を頂きました。

### (1) 「最近の下水道行政について」

国土交通省水管理・国土保全局下水道部  
下水道事業課事業マネジメント推進室長  
岩崎 宏和 様

非開削技術が多く活用される下水道事業に関する国の取り組みについて伺う貴重な機会となりました。

「令和5年度下水道事業予算の概要」「ストックマネジメント等」「下水道事業の最近の話題」といった項目で、分かりやすくご講演頂きました。下水道事業との関わりが深い聴講者が多い中で、今後のビジネスの方向性を見極めるうえで、多くの気づきが得られる内容でした。

### (2) 「下水道共通プラットフォーム（愛称：すいすいプラット）の概要について」

(公社)日本下水道協会企画部部長  
奥野 修平 様

今後の人手不足がささやかれ、情報収集・管理の高度化について、その必要性が一層高まる中、本年4月1日より運用が開始された「下水道共通プラットフォーム」に関するご講演を頂きました。運用開始に至るまでの背景を含め、サービス内容やシステムについて具体的に詳しくご紹介いただきました。

### (3) 「水道管路の更新・維持管理について」

(公財)水道技術研究センター  
管路技術部管路技術部長  
熊谷 岳志 様

上下水道行政の一元化を控え、これまで当協会でも扱われる機会が比較的少なかった上水の管路建設・維持について、現場の写真・動画を交えながら、分かりやすくご紹介頂きました。受講されたみなさまからは、「水道事業に関する内容が新鮮であり、興味深かった」という声が寄せられており、下水道事業との共通点・相違点を理解する機会とすることができました。

開会・閉会では、森田弘昭会長、森治郎技術委員長からの挨拶がありました。旬な情報、みなさまが興味をもつ内容をお届けするべくテーマを設定し、各講演をお願いしていること、今後とも回数を重ねて開催することをお伝えいたしました。

聴講者のみなさまから寄せられたアンケートには、今聞きたい内容を分かりやすく聞くことができ、参考になったとの声を多く頂いており、事務局としても大変うれしく感じているところであります。

講演会開催にあたっては、公益社団法人日本推進技術協会に後援のご協力を頂いたほか、講師のみなさま、当協会技術委員会をはじめ、多くの関係者のみなさまの支援により、無事に開催することが出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。

最後になりますが、前回に引き続き、品川シーズンテラスカンファレンスを会場に選び、講演会を開催させて頂きました。最寄駅から徒歩数分という距離ではありませんが、多くの方々に会場まで足をお運び頂きましてありがとうございました。

繰り返しのご案内となりますが、当会場は東京都が管理する「芝浦水再生センター」のリニューアルに併せ、施設の上部空間を有効利用する計画により2015年に出来た建物となっております。会場使用料は東京都下水道局の収入にもなる仕組みと伺っており、下水道ビジネスへの貢献の意味も込めて選定をさせて頂いておりますので、みなさまにもご紹介させていただきます。